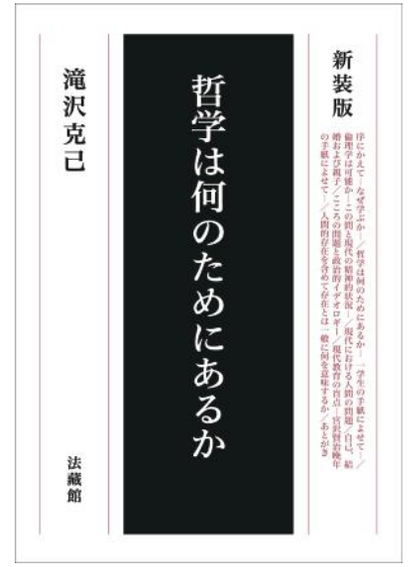
# 新装版 哲学は何のためにあるか

滝沢克己（たきざわ かつみ）著

▼46判・並製カバー・224頁・定価一、九八〇円

2022年8月刊行




なぜ学ぶのか？
人間本来のあり方への回帰を説く、
アクチュアルな哲学入門が新装版として復刊。

哲　学

【目次】


**序にかえて**——なぜ学ぶか

**一　哲学は何のためにあるか**——一学生の手紙によせて

**二　倫理学は可能か**——この問と現代の精神的状況

一　人間の「主体性」について
二　自己認識の方法について
三　倫理学の可能性について

**三　現代における人間の問題**

一　現代における人間
二　「現代における人間」と「人間における現代」
三　「ブルジョア・ヒューマニズム」と現代の精神的状況
四　自己そのものの問題と現代の社会的状況
五　結びの言葉——人間の問題とキリスト教

**四　自己、結婚および親子**

一　自己
二　結婚
三　親と子

**五　こころの問題と政治的イデオロギー**

一　こころの問題
二　こころの問題と学問的方法
三　こころの問題と福音書のイエス像
四　人のこころと政治的イデオロギー

**六　現代教育の盲点**——宮沢賢治晩年の手紙によせて

一　宮沢賢治——晩年の手紙
二　一人の人が生きているということ
三　根本的な越権
四　「今の生活を大切に護る」
五　言葉と行動との乖離
六　的確な科学的認識

**七　人間的存在を含めて存在とは一般に何を意味するか**

一　「存在」という言葉はそのほかの何に対して語られるか——その七つの場合について
二　「人間的存在を含めて存在一般の意味」を明かにするとはどういうことか——その真実の意義について
三　いかにして「存在一般の意味」を明かにすることができるか——その可能根拠ならびに方法について
四　結びの言葉

あとがき


◆著者略歴

**滝沢克己**（たきざわ かつみ）

一九一九年三月、栃木県に生まれる。一九三一年、九州帝国大学哲学科卒。ドイツに留学しカール・バルトに師事、帰国後に山口高等商業学校教授、九州帝国大学哲学科哲学専任講師、助教授を経て教授となる。専門は哲学、神学。一九八四年六月、逝去。
著書に『西田哲学の根本問題』（刀江書院）、『夏目漱石』（三笠書房）、『仏教とキリスト教』、『続　仏教とキリスト教』、『滝沢克己著作集』（いずれも法藏館）など多数。


ご注文はFAX：075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458　FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp　info@hozokan.co.jp


注文書

（書店印）

ご担当　　様

冊

法藏館

定価一、九八〇円

滝沢克己著
《新装版》
哲学は何のためにあるか


ISBN:978-4-8318-6583-0　C1010


ご住所
お電話
お名前

20220623